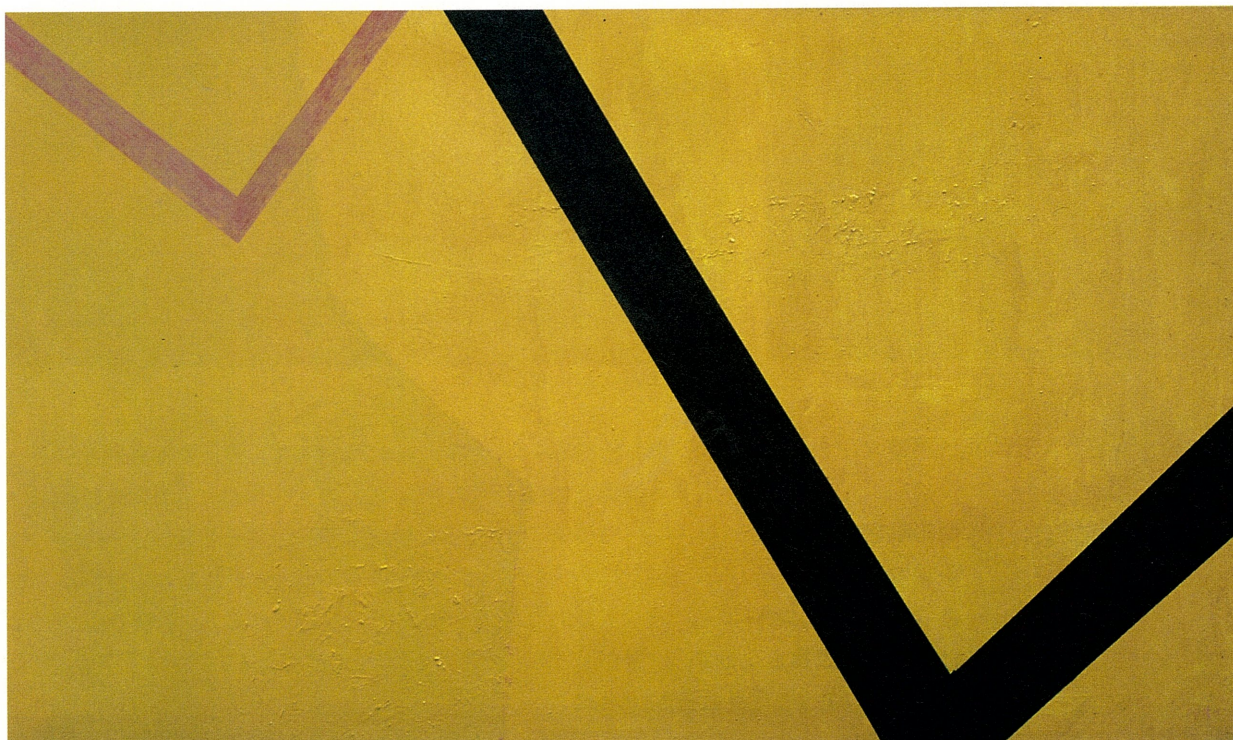


# 清川泰次のアトリエII



《Painting No.5390-91》1991年



《Stainless Object V-3 No.4091》1991年

2012年8月7日(火)～12月2日(日)

開館時間＝10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日＝毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌日休館)

観覧料＝一般200(160)円、大高生150(120)円、中小生100(80)円、65歳以上及び障害者の方100(80)円

\* ( )内は20名以上の団体料金。小・中学生は土、日、祝・休日及び夏休み期間は無料。

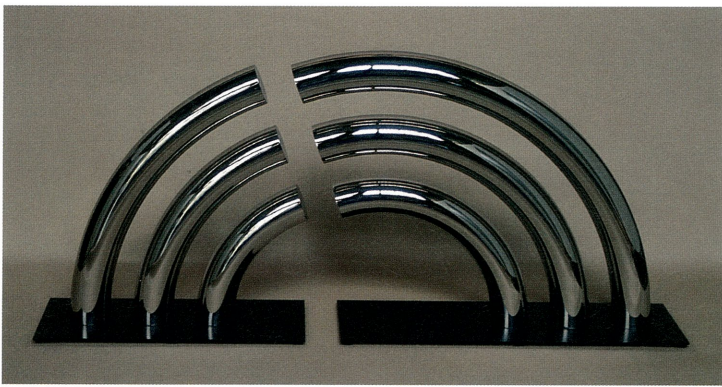
\* 障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名につき、1名に限る)は無料。

交通案内＝小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL:03-3416-1202  
www.kiyokawataiji-annex.jp/



《Stainless Object SEMI No.3591》1991年

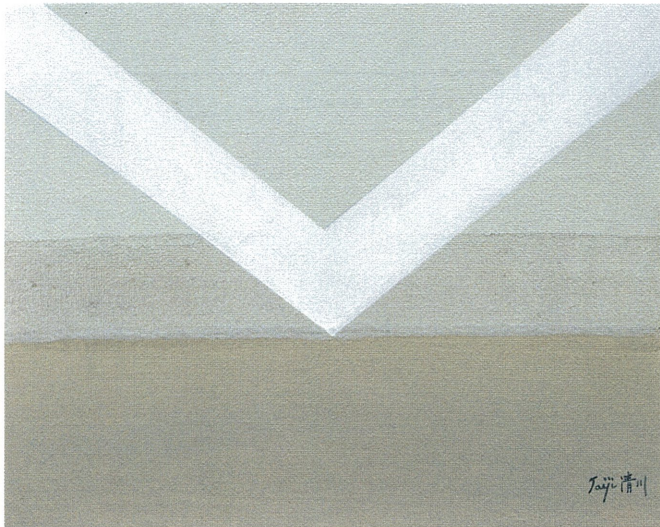


《Stainless Object C-3 No.3891》1991年

## 清川泰次のアトリエⅡ

2012年8月7日(火)～12月2日(日)

清川泰次(1919-2000)は、形と色と線のコンビネーションによって、独自の抽象的な表現を探究しました。それは平面上の絵画だけにとどまらず、3次元の立体作品にも展開されました。清川泰次は、変質しづらいステンレスの素材を好みました。極限までそぎ落としたシンプルな要素で構成された形体と鏡面仕上げのステンレスのシャープな輝きとが結びついた清川泰次の立体作品は、絵画作品にはない新たな魅力を私たちに示してくれます。本展では、こうした立体作品に焦点をあて、絵画作品とあわせて約15点をご紹介します。立体と平面、それぞれ次元の異なる世界の響きあいをご堪能ください。



《Painting No.2990-91》1991年



《Painting No.190-91》1991年

世田谷美術館分館

## 清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL:03-3416-1202  
www.kiyokawataiji-annex.jp/  
交通=小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分



世田谷美術館分館、清川泰次記念ギャラリーは成城の閑静な住宅街にあります。温かみのあるモダンな建築の前には芝生が広がり、四季折々の草花が咲きます。

当館は、清川泰次のアトリエ兼住居だった個人宅を一部改装したもので、規模は大きくありませんが、落ち着いた雰囲気でご鑑賞いただけます。

併設された区民ギャラリーは、区民の方々の創作活動の発表の場として、週単位で、様々な展示が開催されています。(展示予定はホームページをご覧ください)

清川泰次の作品を展示している小展示室では、お茶を飲みながらゆっくりと関連図書などをご覧ください。



©宮本和義

## 世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL:03-3415-6011(代)  
ハローダイヤル 03-5777-8600  
www.setagayaartmuseum.or.jp/  
\*詳細はホームページなどご確認ください。

### 企画展

すべての僕が沸騰する 村山知義の宇宙 7月14日(土)～9月2日(日)  
世田谷美術館コレクションによる現代美術展 対話する時間 9月15日(土)～11月11日(日)  
生誕100年 松本竣介展 11月23日(金・祝)～2013年1月14日(月・祝)  
ミュージアム コレクションⅡ  
花森安治と『暮しの手帖』 6月30日(土)～9月2日(日)

世田谷美術館分館

## 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL:03-5450-9581 www.mukaijunkichi-annex.jp/

## 向井潤吉 語らいの時間

8月7日(火)～12月2日(日)



©宮本和義

世田谷美術館分館

## 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL:03-5483-3836 www.miyamotosaburo-annex.jp/

宮本三郎クロニクル1922⇒1974—最初期作品から絶筆まで  
8月7日(火)～12月2日(日)



©宮本和義